

平成 30 年 10 月 30 日

各 位

株式会社新生銀行  
株式会社アプラスフィナンシャル**「マツモトキヨシグループ」の全国約 1,600 店舗で「支付宝(「Alipay」:アリペイ)」取扱開始  
～新生銀行グループでの「Alipay」導入第一弾～**

株式会社新生銀行(東京都中央区、代表取締役社長 工藤 英之、以下、「新生銀行」)のグループ会社である株式会社アプラス(東京本部:東京都千代田区、代表取締役社長 渡部 晃、以下、「アプラス」)は、株式会社マツモトキヨシホールディングス(本社:千葉県松戸市、代表取締役社長 松本 清雄、以下、「マツモトキヨシ HD」)と中国人向けモバイル決済サービス「支付宝(「Alipay」:アリペイ)」<sup>※</sup>の利用で合意し、平成 30 年 10 月 30 日(火)より、ドラッグストアの「マツモトキヨシ」をはじめとするマツモトキヨシグループの全国約 1,600 店舗で「Alipay」の取扱を開始することになりましたのでお知らせいたします。

新生銀行グループでは第三次中期経営計画において、決済(ペイメント)分野を戦略的取組分野と位置付け、アプラスを事業主体として取組みを強化しており、平成 28 年 5 月より開始した中国人向けモバイル決済サービス「WeChat Pay(微信支付)」の国内利用店舗の開拓は、平成 30 年 9 月末現在で 1,469 社、11,136 店舗まで着実に拡大しております。アプラスでは、中国の阿里巴巴集団(Alibaba Group)の総合金融サービスを提供する関連会社傘下の電子決済サービス「Alipay」のアクワイアリング業務を開始しており、今般のマツモトキヨシ HD での取扱開始はその導入第一弾となるものです。

マツモトキヨシ HD は、中国で幅広く使われている銀聯クレジットカードを平成 20 年より繁華街や観光地など訪日客数の多い「マツモトキヨシ店舗」で導入するなど、主に中国からのインバウンド需要を見越した取組みに注力しており、今般の「Alipay」決済サービスの導入により多くの訪日客の皆さまの利便性向上を実現していきます。

アプラスでは、既存の口座振替による決済やコンビニでのバーコード決済などに加え、リアル店舗向けにスマートフォンで表示されるQRコードやバーコードを販売店の専用端末や POS レジで読み取ることで簡単に決済が完了するサービスの利用店舗網の拡大に取り組むことにより、政府が掲げるキャッシュレス決済の普及とお客様の利便性の向上に努めてまいります。

**■株式会社マツモトキヨシホールディングス**

名 称 株式会社マツモトキヨシホールディングス  
代 表 者 代表取締役社長 松本 清雄  
本 社 所 在 地 千葉県松戸市新松戸東 9 番地 1

※ アリババグループの関連会社 アント フィナンシャルサービスグループが提供する「Alipay」は、世界最大規模のモバイル及びオンライン決済プラットフォームです。中国における「Alipay」のアクティブユーザー数は 7 億人以上となっており、海外でも中国人向けのオフライン決済サービスを 40 の国と地域で提供しています。

以 上